

vol.123

2024年3月号

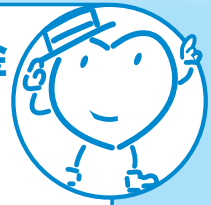
公益財団法人国際障害者年記念 ナイスハート基金

(新事務局所在地 2024年3月4日～)

〒105-0022 東京都港区海岸 1-4-26 ゆうらいふセンター

電話：03-3434-2170 FAX：03-5401-0681

URL:https://www.niceheart.or.jp



なほはあと



ナンバーバル・コミュニケーションワークショップ in くまもとの様子

表紙/写真	ナンバーバル・コミュニケーションワークショップ in くまもと	1
報告/	ナンバーバル・コミュニケーションワークショップ in くまもと	2
寄稿/	ナンバーバルコミュニケーションでつながる心と心	4
	メイミさん (漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長)	
	2024年度事業計画	6
	事務局再移転について /2024年度ふれあいのスポーツ広場上半期の開催日程他	8



ノンバーバル・コミュニケーション ワークショップ in くまもと

主催 公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金

後援 熊本県 / 社会福祉法人熊本県社会福祉協議会

日程 3月13日(水)～14日(木)

参加施設 障害者支援センター希望ヶ丘学園 / わかあゆ

つつじヶ丘学園 / 第二つつじヶ丘学園

障害者支援施設うぐいす

ファシリテーター 庄崎隆志さん office 風の器主宰・俳優・演出家

メイミさん 漫談家・介護福祉士・NPO 法人笑顔工場理事長

ノンバーバル・コミュニケーションワークショップは、言葉を使わずになかなか伝わらないもどかしさを感じながら、じっくりと相手と向き合うための空間です。そこから、自分らしい伝え方、伝えられ方を学び合う場として、2011年度より東日本大震災等の被災地を対象として活動してきました。

今年度は2020年7月の豪雨にて甚大な被害のあった熊本県人吉市周辺の施設で、庄崎隆志さん、メイミさんのご協力をいただき開催することができました。

～3月13日 スケジュール～

【午前の部】 ※参加人数50名※

09:10 障害者支援センター希望ヶ丘学園 到着

09:50 ワークショップ開始

拍手 / 自己紹介 / アイスブレイク

10:00 手拍子パフォーマンス

10:05 メイミパフォーマンス / 変身ショー

10:15 ミラーリング

10:25 エアボール / 庄崎パフォーマンス

10:40 手のしばい

10:50 ワークショップ終了→記念写真等

【午後の部】 ※参加人数45名※

12:50 つつじヶ丘学園 到着

13:25 ワークショップ開始

拍手 / 白板で自己紹介

13:40 オリジナルポーズ / メイミパフォーマンス

変身ショー

13:55 庄崎パフォーマンス

14:05 ミラーリング / エアボール

14:20 手のしばい～うみのチェロマイム～

14:25 ワークショップ終了→記念写真等



～3月14日スケジュール～

【午前の部】※参加人数45名※

09:10 第二つつじヶ丘学園 到着

10:00 ワークショップ開始

握手 / アイスブレイク

10:10 汽車ごっこ

10:15 オリジナルダンス

10:20 変身ショー / ミラーリング

10:40 メイミパフォーマンス

演奏パフォーマンス

10:55 ワークショップ終了

【午後の部】※参加人数55名※

12:45 障害者支援施設うぐいす 到着

13:20 ワークショップ開始

ハイタッチ / ハートポーズ

13:30 早着替え / メイミパフォーマンス

13:40 庄崎パフォーマンス / エアボール

13:55 エアベースボール

14:00 変身ショー / オリジナルポーズ

14:10 手のしばい～うみのオーケストラ～

14:20 ワークショップ終了→記念写真等



～ ノンバーバル・コミュニケーション ワークショップ in くまもと参加者の感想～

・ノンバーバル（非言語）でのコミュニケーションとの事で、利用者がどれだけ理解できるだろうかと、多少の不安を感じていましたが、始まるやいなや、利用者から大きな笑い声があがり、庄崎さん・メイミさんのジェスチャーに合わせて一緒に体を動かされる利用者を見て、不安感はずぐに吹き飛びまして、お二人の動きや表情と利用者の歓声や笑顔を見て職員も一緒に大笑いしながら観覧させて頂きました。

言葉を上手く発する事が出来ない利用者や言葉での声掛けの理解が難しい利用者にも、言葉を用いずとも意思の伝達をする事が出来る事を改めて考えさせられ、支援の方法としてのノンバーバルコミュニケーションの大切さを学ばせて頂きました。

・ノンバーバルコミュニケーションという聞きなれない言葉に、初めは、何が行われるのだろうと不安げにそわそわされていた利用者様でしたが、庄崎様、メイミ様お二人のショーが始まると、ノンバーバルコミュニケーションの世界にいつのまにかどどん引き込まれていきました。普段、ノンバーバルコミュニケーションである表情や仕草、ジェスチャーなどは意識せずとも何気なく普段の支援で行っていることだと思いますが、ノンバーバルでのコミュニケーションを意識することで、さらに利用者様との関係性に大きく影響があるのではと感じました。

ノンバーバルコミュニケーションで つながる心と心

メイミ Meimi



今年度は熊本県の人吉市と球磨郡にある4つの施設様での開催でした。

コロナ禍以来、初めて外部の人を招いての行事開催という施設様もあり、歓迎ムードで迎えてくださいました。心より感謝いたします。

また、今年度もワークショップ開催にご尽力された関係者の皆様、素敵な機会をいただき有難うございました。

今年は元日から能登半島の地震発生という大変な年明けとなり、心を痛めております。被災された方々、震災でお亡くなりになった方、そのご親族様、心よりお見舞い申し上げます。

ノンバーバルコミュニケーションワークショップは自然災害等の被災地復興支援の事業として行っており、今回訪れた地域で



も4年前、大変な水害がありました。現地を訪れ、その爪痕を感じました。

非常事態の時、当たり前が当たり前でなくなるその時、人との繋がり、コミュニケーションのあり方がとても大切なのではないかと考えます。

ワークショップという特別イベントではありますが、非言語コミュニケーション自体は特別なものではなく、日頃から活用して頂けると良いなと思います。

今回訪れた4施設様は通所施設2カ所、入居施設2カ所ということで、障害の程度も重度の方から軽度の方まで様々でした。また、施設様の雰囲気や取り組みによって、同じ障害のある方でも全く反応が異なり、一つとして同じものはありませんでした。「いつもは5分くらいで部屋を出ていく方が



最後まで参加してびっくりしました！」
「あの人があんな反応を示すなんて驚きです！」

いつも接している職員さんであっても、参加者様の知らない一面に出会うワークショップです。

人の可能性は無限大で、この障害があるからこうだろうという思い込みによって、その人の知らない魅力に気付けずにいるかもしれません。

ファシリテーターの私たちが特別ではなく、関わり方次第で、コミュニケーションに変化が生まれるということを感じて頂けると嬉しく思います。

この数年間のコロナ騒動で人との距離感が難しくなりました。本来、非言語コミュニケーションにはスキンシップも含まれますが、どの程度接して良いものが迷うところがあります。

今回訪れたある施設様で、ワークショップ後に皆さんに囲まれ、もみくちゃになるという体験がありました。次から次へと声をかけられ手を握り、こんなに密に人と接する機会は久しぶりで胸が熱くなりました。また、ワークショップ中には照れ臭そうにしてらっしゃった方が自ら積極的にハグしてくださり、実はこんなにも心を許して下さったのかと驚きました。人の心は一見して分からないものですね。

ファシリテーターを庄崎隆志さんと共に担当していますが、ファシリターの2人にもこの1年間で変化があったようです。



庄崎さんはここ数年で高齢者施設さんでの活動が増え、高齢者さんとの関わりの中で身についた、ゆっくりと「待つ」という新たなコミュニケーションを実践されてきました。待つ、じっくりと関わる、手を変え品を変え根気強くボールを投げてみる。慌ただしい日常の中で、待つことは勇気のあることかもしれませんが、その先にある温かなコミュニケーションは味わい深い素敵な時間です。

さて、私はというと「受け身の姿勢で積極性がない。新たなチャレンジをぶつけてみては？」というご指摘を受けました。自分を振り返り、心当たりがありました。うちには6歳になる息子がいて、彼にはダウン症があり言葉が上手く話せません。自分のことはさて置き、彼を支えようと立ち回ることが日常になり、一歩引いてアシストする癖がついているかもしれません。

このことに気付けたことは大きな収穫でした。コミュニケーションはキャッチボール、バランスも大切。同じ球ばかりではつまらないし、時には変化球も必要ですね。

私自身も思い込みを捨てて、どんな反応が返ってくるか分からないようなことにもチャレンジし続けたいと思います。

2024 年度事業計画

1. ふれあいの広場事業

(1) ふれあいのスポーツ広場の実施

ふれあいのスポーツ広場は、障害の有無に関わらず、軽スポーツを通じ、共に楽しみ、交流することを目的とし、当基金設立時より実施している事業です。1992 年度以降は「全日本自動車産業労働組合総連合会（自動車総連）」より物心両面にわたるご支援をいただきながら、開催しています。

2023 年度は、昨年度同様午前中のみでの短時間にもかかわらず、参加者とボランティアスタッフの交流を増やすために競技を追加し、全国 46 会場で開催することができました。

2024 年度は、ふれあいのスポーツ広場の意義・目的を踏まえつつ、コロナ以前の午後までの通常開催に戻し、全都道府県での実施を目指します。

競技内容については、日本福祉大学の藤田紀昭教授を中心に、障害の種別や程度でなるべく影響の少ないプログラムとして、ユニバーサルスポーツをキーワードに実施してきた内容を踏まえつつ、コロナ禍において実施した競技運営の知見も加味しながら、安心・安全に、またより楽しんでいただく運営に努めます。

コロナ以前の活気あふれるイベントとなるよ

うに、多くの関係者、ボランティアの皆様のご支援をいただきながら、全力で推進してまいります。

実施時期	2024 年 4 月～ 2025 年 3 月
開催地域	全都道府県を予定
開催数	全国 47 会場（予定）
共催	全日本自動車産業労働組合総連合会
後援	内閣府、スポーツ庁、開催都市、開催都市教育委員会等
協力団体	日本福祉大学 仙台ユニバーサルスポーツ研究会 (公社) 日本エアロビック連盟



(2) ノンバーバル・コミュニケーション・ワークショップの実施

障害の有無に関わらずお互いが尊重しあえるように、ノンバーバル（非言語）という方法でコミュニケーションについて学ぶ場づくりをいたします。

2024年度には、2023年6月29日から豪雨被害のあった山口県内の障害者施設での実施を計画いたします。

実施時期：2025年2月

対象者：障害のある方、教職員、ボランティア等
ファシリテーター：庄崎 隆志氏

(office 風の器主宰・俳優・演出家)

メイミ氏

(漫談家・NPO 法人笑顔工房 理事長)



2. 開発、普及及び育成事業

(1) 各事業報告書の発行

当基金が事業展開をしている中で、障害の有無に関わらず共に楽しむことのできる手法や考え方を、多くの方に知っていただき、様々な活動の中で取り組んでいただけるように、下記の報告書を発行致します。

刊行時期：2025年3月

発行部数：当基金ホームページにおいても掲示
無償配布。

発行報告書：ふれあいのスポーツ広場
ノンバーバル・コミュニケーション・
ワークショップ

(2) ニュースレターの発行

当基金が設立以来事業活動の基盤として周知に努めている、障害の有無に関わらず共に楽しみ共に取り組みながら相互理解を深めていく「ふれあいの広場」事業に関して、その理念や活動内容、そしてプログラムの手法やイベント情報を中心に掲載した機関誌「ないすはあと」を年4回発行します。

発行月：6月、9月、12月、3月

発行数：当基金ホームページにおいても掲示
無償配布。

内容：ふれあいの広場事業に関わるプログラム内容、手法、実施の状況等

～2024年度ふれあいのスポーツ広場上半期の開催日程～

自動車総連の皆様のご支援により全国各地で開催している「2024年ナイスハート・ふれあいのスポーツ広場」は、コロナ以前の午後までの通常開催を4月から予定していますのでよろしくお願いいたします。
(4月1日現在)

No.	開催地	日程	会場
1	鹿児島(鹿児島)	4月8日(月)	鹿児島市民体育館
2	宮崎(国富)	4月16日(火)	アリーナくにとみ
3	山形(河北)	5月14日(火)	河北町民体育館
4	富山(富山)	5月18日(土)	アイザックスポーツドームアリーナ
5	岩手(滝沢)	5月20日(月)	滝沢市東部体育館
6	北海道(千歳)	5月21日(火)	千歳市スポーツセンター
7	長野(東御)	5月25日(土)	東御市ふれあい体育館
8	滋賀(近江八幡)	5月26日(日)	サン・ビレッジ近江八幡アリーナ
9	栃木(宇都宮)	6月1日(土)	わかくさアリーナ
10	香川(善通寺)	6月5日(水)	善通寺市民体育館
11	岡山(倉敷)	6月8日(土)	水島緑地福田公園体育館
12	京都(京都)	6月9日(日)	京都市障害者スポーツセンター
13	福井(越前)	6月9日(日)	越前市アイシンスポーツアリーナ
14	岐阜(関)	6月11日(火)	アテナ工業アリーナ
15	福島(須賀川)	6月15日(土)	円谷幸吉メモリアルアリーナ
16	山口(防府)	6月16日(日)	ソルトアリーナ防府
17	高知(南国)	6月18日(火)	南国市立スポーツセンター
18	愛媛(東温)	6月19日(水)	ツインドーム重信
19	茨城(水戸)	6月22日(土)	アダストリアみとアリーナ
20	福岡(北九州)	6月24日(月)	北九州市立総合体育館
21	徳島(鳴門)	6月26日(水)	鳴門・大塚スポーツパーク(アミノバリューホール)

事務局の再移転について

ゆうらいふセンター立替工事のため芝パークビルに移転していた事務局ですが、ゆうらいふセンター竣工に伴い、再移転することになりました。

新事務局の執務開始：2024年3月4日

移転先：〒105-0022

東京都港区海岸1-4-26 ゆうらいふセンター

電話番号変更無し(03-3434-2170)

FAX 番号変更無し(03-5401-0681)

e-mail アドレス 変更無し

(info@niceheart.or.jp)

123,NICE HEART 8

ナイスハートなご支援をありがとうございました

2023年12月から2024年3月迄の間に、当基金へ寄付金を頂戴いたしました。

いただきました資金は、それぞれの活動のために有効に使わせていただきます。ありがとうございました。

【寄付金】

斉藤信行様

